



1年
實川 菜美さん

※わたしの大好きなうさぎとハムスターがとび出すようにつくったんだよ。

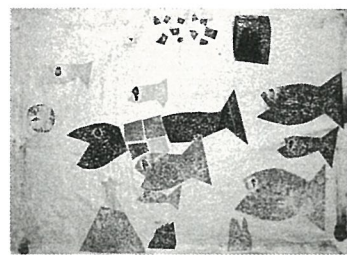


『二ヨキ二ヨキ、あれれ』

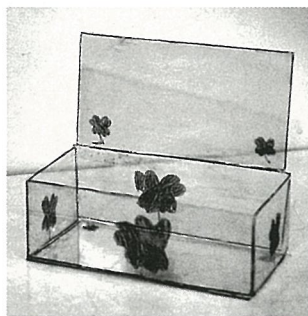


2年
橋村 廉さん

※色とりどりの魚たち。あたからいっぱいグットだぜ。ほくにもわけてほしいな。



『魚たちのたからもの』



『クローバーの箱』



3年
伊藤 愛さん

※箱の平らな面を写すのが大変でした。好きなクローバーを上手に描けました。



『防火ポスター』



4年
伊藤 泰成さん

※ポスターの中でも一番に気をつけたのは字で、細かいところをきれいにぬりました。



5年
大橋 幸加さん

※文字がめだつように、色を工夫しました。バックの色がきれいにぬれました。



『火は消した』



6年
大木詩央理さん

※相手に自分の考えが伝わるような絵をかくのがたいへんでした。



『防火ポスター』

ひかり歌壇



土屋 好 (虫生)

山裾の紅梅一樹咲き盛り
ひらひら舞えいて明日は立春

山裾野紅梅が咲き満ち春を踊り迎えている

鈴木 益郎 (原方)

冬来たり春遠からじつかのまの
寒さにめげず春を待ちなむ

寒い冬に負けず、じっと春を待とう

安田 和子 (作間内)

今日一輪一輪つとほころびて
わが狭庭辺に咲くしだれ梅

庭の梅も咲き始め春が待ちどかしい

越川 福子 (宮内)

一月十日凍土の割目みずみずし
浅黄のぞかせ路の墓あり

一月十日の今朝、凍りついた庭の片隅に路の墓の芽が覗いている

伊藤 定男 (尾垂)

一日の運勢占ふ茶柱に
吉と見たてて今日が始まる

けさも茶柱が立ち吉日だ。
仕事に励もう。

短評 鈴木 甲子幸

評者詠
百枚の賀状読み終え時々の
面かげ浮かべ八十路踏み入る